

仮想環境の設定法

1. パッケージを入れる

Anacondaで仮想環境を作っただけではあまり意味がない...

パッケージを入れることで自分好みの環境を構築できる！

パッケージとは、拡張機能のようなイメージで元々は環境には入っていないので自分で入れることで初めて使えるようになる

- パッケージを入れたい仮想環境を起動する

ここで仮想環境に入っていない状態で入れると良くないので**マジで注意**

```
conda deactivate #別の環境に入っていたらまずはその環境を停止
conda activate パッケージを入れたい環境名
```

- コマンドを打ってパッケージをインストール

パッケージをインストールするコマンドは以下のようにする（オプションは指定しなくても良い）

```
conda install -オプション パッケージ名
```

バージョンを指定したい時は

```
conda install -オプション パッケージ名=バージョン
```

とすればよい

基本的に入れたいパッケージがあれば、

- anaconda パッケージ名 インストール
- ubuntu anaconda パッケージ名 インストール

などで検索して出てきたものを使用すれば良い

```
conda install -オプション パッケージ名
```

パッケージの入れ方は基本的にはこれだけ

調べた際に他のコマンドが出てきたり、追加のコマンドが出てくることがあるのでよく分からないときや、合っているか不安なときは聞こう！

2. 入れたパッケージを確認する

パッケージがちゃんと入ったか確認したいときや、バージョンを確認したいときがある

- 確認したい仮想環境を起動する

上の流れで行っている時はすでに入っているので飛ばして良い

そうでない場合はコマンドを打って起動しよう

```
conda deactivate #別の環境に入っていたらまずはその環境を停止
conda activate 確認したい環境名
```

- コマンドを打ってパッケージの確認

以下のコマンドを実行する

出力がたくさん出てくるが、アルファベット順なのでお目当てのものを探そう

```
conda list
```

3. パッケージを削除する

間違ったパッケージを入れてしまったときなどに使う

```
conda uninstall パッケージ名
```

しかし、他のパッケージと組み合わせで使うものなどもあるかもしれないので不用意に削除したり、頻繁に行ったりするのは良くないかも